

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	4企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんざいだんほうじんにはんきょうげきしんこうきょうかい 一般財団法人 日本京劇振興協会		団体ウェブサイトURL https://www.shincyo.com/
	代表者職・氏名 代表理事 潮新		
制作団体所在地	〒 156-0055	最寄り駅(バス停)	船橋六丁目
	東京都世田谷区船橋6丁目7-1 エスカイア千歳船橋103号		
電話番号	03-6411-4168		
ふりがな 公演団体名	しんちょうげきいん 新潮劇院		団体ウェブサイトURL https://www.shincyo.com/
	代表者職・氏名 主宰・張春祥(本名:潮新)		
公演団体所在地	〒 156-0055	最寄り駅(バス停)	船橋六丁目
	東京都世田谷区船橋6丁目7-1 エスカイア千歳船橋103号		
制作団体 設立年月	2016年1月(任意団体としては1996年 1月)		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 潮新 常務理事 梅木俊治/理事 加藤徹 評議員:佐藤信、劉穎、平林宣和 監査:山下輝彦		役員3名(うち非常勤1名) 評議員3名 監査1名 非常勤職員2名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	梅木 俊治 根目澤 容子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	梅木俊治
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	jyunkai@shincyo.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>祖父の代から三代に渡って受け継ぐ京劇一家に生まれた張春祥が日本での京劇普及と日中文化交流を目的に設立。在日京劇俳優と日本人俳優とで構成され、日本人にもわかりやすく京劇を伝えるとともに、コラボレーションや新編京劇創作などの先駆的試みも行う。日本人俳優の育成にも務めている唯一の在日京劇団。</p> <p>1996年 在日京劇団「新潮劇院」として設立 1999年 日本人舞台俳優とのコラボレーション、日本人向け演出、日本語セリフ導入を開始 2000年 初となる創作京劇「中国の不思議な役人」上演 2002年 一般向けの京劇教室開講 2009年 元中国戯曲学院講師・張桂琴を招いての京劇俳優研修制度開始 2014年 中国最高峰の児童伝統芸能コンテスト「小梅花」金賞を受賞 2016年 「一般財団法人 日本京劇振興協会」として法人化 2018年 子供京劇団「世田谷こども京劇団」設立 2020年 能楽・京劇コラボレーション作品「霸王別姫～能楽と京劇 日中ユネスコ無形文化遺産の融合～」を令和2年度(第75回)文化庁芸術祭参加公演として上演 2022年 文化庁「ARTS for the future!」補助事業 中国伝統芸能コラボレーション公演「鍾馗 病魔を斬る」上演、など</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2015年～ 文化庁の学校巡回公演事業採択(2019年度除く) 2015年8月 久留米シティプラザブレ事業「夏休みだ！ 京劇 やってみる観る?!」 2016～2018年 ヨコハマアートサイト2016「こども京劇プロジェクト」 横浜市内保育園・小中学校京劇公演と共演型公演実施 2016年 成城ホール「こども京劇」 2017年8月 福岡・大阪・東京にて日中子供伝統芸能交流公演 2018年度～横浜山手中華学校で発足した「京劇部」の指導担当 2019年12月～2020年1月 子どもゆめ基金助成事業「こども京劇プロジェクト in 兵庫」など 2020年11月～2021年2月 令和3年度大阪市演劇鑑賞会関連事業 京劇ワークショップ (小学生をメインターゲットにしたワークショップ事業) 2021年2月 令和3年度大阪市演劇鑑賞会「はじめての京劇～孫悟空vs 白骨精」 (小学生をメインターゲットにした共演型公演事業) 2023年 第19回 子どもたちと芸術家の出あう街 参加(小学校アウトリーチ・子供へのワークショップ・実演)、和光鶴川幼稚園での京劇上演など</p>		
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>2017年12月 「ヨコハマアートサイト2017」にて横浜市立ろう特別支援学校での京劇上演 2018年7月 千歳台福祉園にて京劇上演 2019年1月 社会福祉法人 同愛会 リエゾン笠間にて京劇上演 2019年9月 千歳台福祉園にて京劇上演 2019年9月 社会福祉法人 同愛会 リエゾン笠間にて京劇上演 2021年3月 千歳台福祉園にて京劇上演 2022年3月 千歳台福祉園にて京劇上演(オンライン) 文化庁の学校巡回公演事業において、特別支援の生徒・児童の参画・共演が複数回あり。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://shincyo.com/jyunkai/kikaku1.html</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>shincyo</p>
		<p>PW:</p>	<p>jyunkai2024</p>

別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 新潮劇院】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	新潮劇院 京劇公演「孫悟空 天界で大暴れ」			
企画のねらい	<p>本企画では、子供たちが普段触れる機会の少ない海外の伝統芸能「京劇」体験を通じて、伝統芸能および異文化に対する興味と理解を深めます。日本語のセリフやわかりやすい字幕を取り入れた構成により、海外の伝統芸能に対する敷居を下げ、文化へのポジティブな姿勢を醸成します。さらに、京劇特有の拍手や掛け声による応援や、観客との一体感のある演出により、観客側の子供たちも物語の進行に参加し、文化交流を体感できます。このような体験を通じて、将来の日中友好にも貢献することを目指しています。共演の子供たちはプロの俳優と同じ衣装とメイクで舞台に立つことで、自己表現への自信を育む機会を提供します。</p>			
演目概要・演目選択理由	※別添あり(1)			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>①事前ワークショップに参加した児童・生徒が、本物のメイクと衣装で本編に登場し、プロの京劇俳優と共演します。得意技披露や旗のマスゲーム、中国語セリフなどを披露し、終演後には記念写真を撮影します。 ②教員もメイクを施して登場し、子供たちを驚かせ、舞台を盛り上げます。 ③観客全員で京劇の唱を歌い、物語が進行します。劇中に俳優と対話したり、掛け声や拍手の練習をしたりすることを通じて、子供たちが舞台に参加する一体感を楽しみます。 ④希望があれば、舞台裏見学や簡単なメイク体験、終演後の質疑応答や記念撮影も行います。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	6～36名	
		鑑賞人数目安	最大 600名程度	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>孫悟空 天界で大暴れ ～西遊記より～ (古典演目/脚本・演出 張春祥) 【プログラム構成】 ・上演前レクチャー(15分) ・京劇「孫悟空 天界で大暴れ」鑑賞及び共演(60分) ・カーテンコール、集合写真撮影(5分)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>			
出演者	石山雄太/張春祥(新潮劇院団長、北京京劇院出身)/張桂琴(元中国戯曲学院講師)/侯偉(上海京劇院出身)/劉東風(北京京劇院出身)/劉妍(瀋陽京劇院出身)他4名			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>[主演:石山雄太] 東京都浅草生まれ。小学生のとき来日公演の京劇「孫悟空」を見て以来京劇に魅了され、高校卒業後、中国戯曲学院に留学。卒業後は中国トップの京劇団・中国京劇院(現・中国国家京劇院)に所属。京劇界初の外国人の京劇俳優として活躍。帰国後、京劇普及のため積極的に公演活動が続ける。専門の役柄は立ち回りを交えた幅広い演技力を要求される道化役「武丑(ぶちゆう)」。 [演出:張春祥] 祖父の代から京劇を家業とし、北京京劇院に13年間所属。海外公演で主演を務め好評を博した。1989年来日後、蜷川幸雄演出「さらばわが愛・霸王別姫」、宝塚歌劇団「蒼穹の昴」など、舞台や映画、振付指導で幅広く活躍。1996年より京劇団「新潮劇院」を主宰。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	<p>出演者: 10 名</p> <p>スタッフ: 3 名</p> <hr/> <p>合 計: 13 名</p>	運搬	<p>積載量: 2 t</p> <p>車 長: 4.8 m</p> <p>台 数: 1 台</p>	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有	前日仕込み所要時間		1	時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	前日18時	設営:前日18~19時 メイク・着付:9~13時		13時~14時半	なし	14時半~17時	17時	
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。								
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月		7月		8月		9月	
	10日		0日		0日		10日	
	10月		11月		12月		1月	
	13日		10日		10日		8日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		61日	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) ※採択決定後、図面等の提出をお願いします。				<p>図1) 舞台配置</p> <p>床面に絨毯を引いて舞台にします。 (5.4m×7.2m)</p> <p>体育館舞台は緞帳を下ろし、着替えと通り抜けの場所になります。左右には袖幕を立て字幕も表示。低学年の子どもでもわかるように簡易にし、フリガナもふっています(中学校用の字幕も用意があります)。完全に暗くする必要はありませんが字幕を表示する都合により暗幕は使用して自然光を遮断します。</p>				
				<p>図2) 共演の子供は袖幕裏で鑑賞します</p>				
							<p>図3, 4) 俳優控室でメイクを行い、体育館ステージで衣装着付けをします</p>	
				<p>図5) プロの京劇俳優たちが子供たちと共演しながら舞台を上演します。京劇には大がかりな舞台装置もなく、設営や撤収に時間があまりかかりません。観客も拍手や「好(ハオ!)」の掛け声で応援したり、劇中の唱を全員で歌ったりして舞台に参加します。</p>				
	著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否		該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況				

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 新潮劇院 】

ワークショップのねらい	<p>子供たちが中国の伝統芸能「京劇」の魅力を体験し、異文化・伝統芸能への理解と興味を深めることを目指します。一見すると難解な京劇の所作の意味や外国の歌を学ぶことで、子供たちは異文化伝統芸能を身近に感じ、想像力が刺激されます。</p> <p>特に共演する子供たちが本物のメイクや衣装をまわって舞台に立つ体験は本場中国でも滅多にできない貴重な機会であり、自己表現力を高めるきっかけになります(実際に、引込み思案な子供が共演を経験した後、合唱コンクールのピアノ伴奏に立候補したなど、積極的な変化が報告されています)。</p> <p>また、チームごとの練習を通じて、自然と意見交換や協力が生まれ、チームワークやコミュニケーション能力が向上します。子供たちは文化を学ぶだけでなく、仲間との絆を深めながら、成長する体験を得ることができます。この体験は、国際的な視野を広げるだけでなく、子供たちの自己成長とコミュニケーション力の向上にも寄与します。</p>		
-------------	--	--	--

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	本公演共演者 6~36名 +ワークショップ 最大 600名程度
--------------	---------	--------	------------------------------------

ワークショップ実施形態及び内容	<p>[京劇レクチャー] 「伝統芸能とは何か?」から始まり、日本の伝統芸能も紹介しながら、中国伝統芸能「京劇」についての歴史・様式、そして今回上演する演目の概要について説明していきます。画像・動画を利用してわかりやすい内容で、質疑応答などのコミュニケーションをとりながら進めていきます。</p> <p>[共演者への指導] 事前に希望者を募り、共演する児童・生徒に対してプロ俳優が指導します。役柄は天兵、小猿、仙童の三種類で、京劇の基本的な演技や動きを教えます。</p> <p>[京劇所作や立ち回りの体験] 共演しない児童・生徒は、「圓(ユアン)」を基本とした優雅な京劇の所作や指使いを体験します。京劇には独特の様式があり、それぞれの所作には意味があることを学ぶことで、伝統芸能や本公演の鑑賞理解が深まります。 また、スペースがあれば新聞紙を使った武器の代用品で立ち回りの基礎を学びます。二人組での動作を合わせる際には、覚えた動きを行うだけでなく、アイコンタクトなどのノンバーバルコミュニケーションが重要であることを実感できます。これにより、子供たちは京劇の所作を学ぶだけでなく、他者との協力や信頼の大切さを体験し、今後の様々な活動にも活かせるスキルを習得する機会を得ます。</p> <p>[劇中の唱・セリフ指導] 共演しない児童・生徒には、劇中のキーポイントとなる唱やセリフを指導し、本編で実際に参加できるように練習します。</p> <p>[リハーサルの観覧] 共演者たちがリハーサルを受ける様子を他の児童・生徒が観覧し、実際の舞台がどのように作られていくかを学びます。</p> <p>[その他] 希望に応じて、俳優との交流給食や質疑応答なども実施可能です。</p>		
-----------------	---	--	--



その他ワークショップに関する特記事項等	<p>●特別支援学校での実施 京劇は派手な衣装やメイク、感情表現を大げさに表現する「ノンバーバルな演劇」としても成立しており、特別支援学校でも大きな改変をせずに上演可能です。児童との共演については、障害の内容や重さに応じて対応方法が異なるため、事前に学校担当者と緊密に連絡を取り合い、各ケースに応じた調整を行います。これにより、すべての児童が安全に参加できる環境を整え、スムーズな実施に努めます。</p>		
---------------------	--	--	--

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

新潮劇院

】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>当団体は、中国伝統芸能「京劇」を上演する唯一の在日京劇団体として日本と中国をつなぐ文化の架け橋となることを使命としています。京劇は中国を代表する伝統芸能であり、その魅力を日本の子供たちに伝えることは、日本における京劇普及の一環として非常に重要であると同時に、将来の日中友好や伝統芸能の継承にもつながる意義深い活動と考えています。我々は自主事業としても長らく子供たちとの共演やワークショップを実施していますが、全国の学校を訪問できる本事業は特に最優先課題とし、情熱を持って取り組んでいます。</p> <p>2015年の初採択以来、私たちは毎回の公演で得た経験をもとに、プログラムの改善を重ねてきました。特に、子供たちの共演人数を増やし、観覧する子供たちも参加できる演出を取り入れることで、多くの子供たちが京劇を身近に感じられるよう工夫しています(令和7年度からは小学校の1クラスが最大35名になることを踏まえ、クラス全員が共演可能となるように対応した提案をしています)。また、2024年度には演出をより分かりやすくし、さらにキャスト人員を増やすことで、本場の京劇に見劣りしないレベルの公演内容にブラッシュアップして、学校側からも非常に高い評価をいただいております。</p> <p>外国伝統芸能を子供たちと本格的に共演するという上演スタイルは大変インパクトがあり、保護者からも感謝され、現地メディアからの取材も多数あります。ワークショップや本公演終了後には団体SNSでも活動報告を行っており、この事業の広報にも積極的に貢献しています。</p> <p>私たちは、舞台を通じて異文化を身近に感じてもらうことを目指し、子供たちとの交流を大切にしています。最初は見慣れぬ存在に緊張していた子供たちが、公演後に笑顔で手を振ってくれるのを見るたびに、この活動が彼らの成長や異文化理解に役立っていることを実感しています。</p> <p>さらに、京劇を通じて子供たちにチームワークや協力の大切さを伝え、積極性や創造力を育むこともこの事業の大きな目標です。彼らが将来、日中友好の架け橋となることを期待し、今後もこの取り組みを継続していきます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>【高度な専門性】</p> <p>本公演には、長年にわたり京劇の舞台上で活躍してきた俳優たちが参加しています。例えば、主演俳優は中国でのトップ京劇団に所属し、数多くの舞台を経験してきたベテランです。長年にわたる日本での活動を通じ、外国の伝統芸能でありながら、日本人にわかりやすく親しみやすい内容を提供しています。また、子供向けのワークショップや共演する公演に関しても豊富な経験を持ち、子供たちとの教育的なやり取りにも長けています。</p> <p>さらに、出演者だけでなく、舞台スタッフも、長年巡回公演を担当しており、設営から実演までスムーズに進行させるとともに、子供たちの成長や学びをサポートすることができます。特に舞台監督は本企画の制作主担当者であり、事業全体の内容を完璧に把握しています。</p> <p>【事前資料と電話による確認】</p> <p>過去の実績をもとに、実施手順や必要資料は手順ごとにわかりやすくドキュメント化されています。これを学校にメールで送付した後、担当教員との電話確認を行い(約45分程度)、ワークショップや本公演の詳細をすり合わせます。このプロセスにより、現地訪問をせずとも認識のズレを解消し、担当者が変わってもスムーズに進行できる体制が整っています。これにより、教員の負担を最小限に抑えた柔軟な対応が可能です。</p> <p>【シンプルでフレキシブルな舞台設営】</p> <p>現代演劇では舞台装置が大掛かりなものも多いですが、京劇の舞台装置は簡素で、設営に時間がかからないため、学校の設備や空間に応じてフレキシブルに対応できます。特殊な装置を必要とせず、ほとんどの学校で無理なく公演を実施できます。</p> <p>【出演者の役割兼任】</p> <p>出演者は設営や裏方作業も兼任し、人件費を削減しています。この工夫により、短時間・低コストで多くの学校に巡回事業を提供でき、限られた予算の中でも質の高い京劇公演を実現しています。また本公演の移動で公共交通機関を使用できないケースでは自分たちでマイクロバスを手配し、運転していくため、移動コストが低いです。</p> <p>【教材提供】</p> <p>京劇に関する教材を学校に提供し、授業に取り入れていただくことで、子供たちが京劇への理解を深め、観劇体験をより楽しめるようにサポートしています。</p> <p>【専用システム構築】</p> <p>学校との打ち合わせ事項、旅程、各種手配状況などは独自のシステムを構築して管理しています。制作担当者同士の連絡モレ、対応抜けを未然に防ぐとともに、キャストへの連絡事項伝達をスムーズに行えています。</p> <p>【単価維持】</p> <p>近年の物価高、インボイス制度の開始等で諸経費は年々増加していく傾向がありますが、団体内のコストを削減するとともに、出演者たちにも理解をもらって各単価基準は2018年から据え置かせていただいています。</p> <p>これらの工夫により、京劇巡回公演を効果的かつ円滑に実施し、多くの子供たちに舞台芸術の魅力を伝える体制を整えています。</p>
--	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	新潮劇院	】
<p style="text-align: center;">演目概要・ 演目選択理由</p>	<p>■演目概要</p> <p>1. 上演前レクチャー 上演に先立ち、日本人俳優によるわかりやすいレクチャーが行われ、京劇の鑑賞方法を学びながら、リラックスした雰囲気の中で公演に臨めるようにします。 京劇は観客が歓声を上げて応援することができる演劇であり、拍手や「好(ハオ)！」の掛け声の練習も行います。また、公演中には観客全員が京劇の唱を歌って物語が進行する場面があり、この唱の指導も上演前に行います。子供たちが一体となって参加ができるこのレクチャーは、毎回大変に盛り上がります。</p> <p>2. 本編:孫悟空 天界で大暴れ 中国を代表する伝統芸能「京劇」の中から、日本でも人気の高い『孫悟空』の演目を上演します。ワークショップで指導を受けた子供たちも共演します。</p> <p>[あらすじ] 『孫悟空』が三蔵法師と出会う前、暴れん坊の頃のお話。下界での孫悟空のいたずらに困った神々は、彼を天界に呼び寄せ、役職を与えて見張ろうと考えます。しかし、孫悟空は勝手に神々の宴を訪れて貴重な仙桃をたらいがけてしまい、神々と戦いに。</p> <p>3. カーテンコール・代表挨拶・記念撮影 終演後のメンバーを紹介では、共演した子供たちも一人一人名前を呼んで挨拶や自己アピールをします。また、代表児童が俳優に向けて感想を述べ、学びを共有する場も設けます。最後に、共演メンバーやクラスメイトと一緒に記念撮影を行い、思い出を形に残します。</p> <p>[その他特徴]</p> <p>○ 舞台両側には日本語字幕がつきますが、京劇は動きやリアクションが大きく、俳優の表情や所作だけでも十分に内容が伝わります。また、各場面冒頭には日本語ナレーションが入り、日本語セリフの俳優も登場するため、字幕を追わずとも物語を楽しめます。</p> <p>○ 主演の石山雄太は、子供の頃から孫悟空に憧れ、単身で中国に渡り、最高峰の「中国国家京劇院」に所属した日本人俳優です。彼の挑戦と努力は、夢を叶えた実例として子供たちに大きな感動を与えます。</p> <p>○ 舞台では、事前に指導を受けた子供たちが本物の京劇メイクと衣装で登場し、ストーリーの進行に欠かせない役として演じます。さらに、観客も京劇の唱を歌いながら、物語に積極的に参加します。</p> <p>■演目選択理由 孫悟空の物語は、京劇の中でも特に人気が高く、派手なメイクや豪華な衣装、アクロバティックな動きで観客を魅了する作品です。孫悟空は、サルとも人間ともつかないユーモラスで自由奔放なキャラクターであり、そのコミカルな振る舞いは日本の子供たちにも親しみやすく、すぐに京劇の世界に引き込まれます。彼の棒術や立ち回りは、視覚的に楽しめ、子供たちに強い印象を与えます。</p> <p>この演目は、2015年度より文化庁巡回公演事業に採択され、学校や児童向け公演で多くの支持を得てきました。京劇は、セリフよりも表情や動作が重視されるため、言語の壁を感じることなく楽しみ、幅広い年齢層に対応しています。また、共演者のもとより、観客も唱を歌うなどして参加できる演出があり、子供たちにとって貴重な文化体験となります。この公演は、中国文学や異文化への興味を高め、将来の国際的な視野を広げるきっかけとなるでしょう。</p>	    		